

| | | | | |
|----------------|---|------|-------|--------|
| 科目コード | | | 開講期 | 通年 |
| 専修 | 現代史学専修 | | | |
| 講義別 | 特殊講義 | | 毎週時間 | 2 |
| 担当者 (職名・氏名) | 教授 | 永井 和 | 単 位 | 4 |
| | | | 曜 時 限 | 水・1 |
| | | | 教 室 | 文学部新1講 |
| 題 目 | 大正期の宮廷—家長なき皇室 | | | |
| 授業計画 と内容 | <p>大学院の演習や学部演習で解説をおこなってきた「倉富勇三郎日記」を史料にして、第一次世界大戦後の皇室をめぐる諸問題を考察する。</p> <p>とくに大正天皇の病により、天皇家の家族問題、家政問題に最終的な決定を下す主体が機能しないこととなり、家長の不在に等しい状況が皇室に発生した。その結果、宮中問題とよばれるさまざまな問題が噴出することになったが、それらの問題をとりあげ、皇室や元老や宮内省、内閣などの政治的アクターや集団が展開する政治的な過程を考察するとともに、皇室制度がどのようなメカニズムで動いていたのかを明らかにする。</p> <p>1:大正天皇の輔導問題、病と公務制限 2:波多野宮内大臣の辞職問題 3:皇太子の外遊問題、結婚問題 4:摂政問題 5:宮内省の改革問題</p> | | | |
| テキスト・ 参考文献 | 授業中に随時指示する。 | | | |
| 成績評価 方法・備考 | 成績は、普段の学習状況のほか学期末に課するレポートによって判定する。 | | | |